

## ルーブリックを使った自律的目標設定

### 【概要】



ルーブリックは一般的に教授者側が受講生に提示する評価のためのツールとして用いられますが、受講者側が学習活動の目的を自律的に設定するためのツールとしても利用可能です。観点、尺度を教授者が全て埋めず、空欄の部分を受講生に埋めさせる事で、自律的な目標設定が可能となります。特に、プロジェクト学習を展開する際、グループの話し合いにルーブリックを活用すると効果的だと考えられます。

### 【目的】



○受講生が自律的に学習活動の目標を設定する

### 【所要時間の目安】



- やり方の説明：約5分
- 個人で目標を設定する（約5分）
- グループで目標を設定する（約10分）


### 【準備物】



○配布用ルーブリック

### 活動サンプル

#### 活動の流れ

- ①ルーブリックの配布、書き方の説明（5分） 
  - ・個人に1枚、グループ用にも1枚配布する
- ②個人で記入する（5分）\*
  - ・空鶴の箇所に記入させる
- ③グループで集まり、空白を埋める（10分）
  - ・個人で書いたものをベースに話し合いを進める

#### 留意点

	とても良い	ふつう	良くない
評価観点 (1)	~~文章~~	~~文章~~	~~文章~~
評価観点 (2)	空けておく	~~文章~~	~~文章~~
評価観点 (3)	~~文章~~	~~文章~~	~~文章~~

（ルーブリックの例）

#### 空白の

ルーブリックを用いた自律的目標設定は、空白の箇所を学習者が自律的に考え設定し、それをグループのメンバーと合議する事に意味があります。何故なら、人によって評価の観点や基準にブレが生じやすいからです。上の例では観点2の「とても良い」が空白になっていますが、評価観点そのものを空白にする事も可能です。